

平成 25 年度事業報告 【要約編】

平成 25 年度は、公益社団法人への移行 2 事業年度目を迎え、その移行をより確かなものとするため、**社会貢献と会員事業への支援**を両輪として事業を展開し、その結果、概ね順調に終了した。

《社会貢献》

1 不法投棄防止活動

(1) 街頭キャンペーンや統一パトロールへの参加協力 (詳細編 P16～P17)

6 月の環境月間や 12 月の不法投棄撲滅強化月間を中心に、静岡県等が実施する不法投棄撲滅街頭キャンペーンや不法投棄防止統一パトロールに支部毎に取り組み、計 207 名の役員等が参加、協力した。

(2) 不法投棄廃棄物の回収作業の実施 (詳細編 P17)

不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、昨年の秋からこの春にかけて 7 支部全てが最寄りの市や県健康福祉センターなどの協力を得ながら役員や会員等計 194 名の参加により、県内 9 か所の不法投棄現場の廃棄物の回収作業に取り組んだ。

2 小学生の親子を対象とした環境学習「ぼくらはさんばい探偵団」の実施

(詳細編 P18)

平成 5 年度から 21 年間継続実施している、「ぼくらはさんばい探偵団 (夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会)」は、昨年 7 月末から 8 月に 7 支部 8 コースで実施し、小学生の親子計 132 組、365 名が参加した。

「学校で習った事を現場を見て納得できた。」、「最終処分場は私達の生活に欠かせない所であるけれど、目をそむけたい場所でもある。あらゆる面、特に雨水、汚れなどに気を付けていることに感動した。」、「分ければ資源という言葉が実感できた。」などといった参加者の感想文にみられるように生の環境学習の機会の提供として意義のあるものに育っている。

3 大学生を対象とした処理施設等視察会及び意見交換会 (詳細編 P19)

「ぼくらはさんばい探偵団」の大学生版として、昨年 12 月に県立大の大学院生及び静岡大の学生を対象に各 1 回実施し、両大学併せて学生・教授等 48 名が参加した。両大学とも、この視察会及び意見交換会がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

4 環境イベント等への参加による啓発活動 (詳細編 P19)

各支部が最寄りの市等が実施する環境イベント等へ参加し、不法投棄の防止や 3R の推進などの啓発活動を行った。東部支部では、会員企業が提供したリサイクル品等を販売し、その売上収益を慈善事業等に寄託した。

《会員事業への支援》

1 情報の収集・提供

(1) 全国的な会議等への参加による情報収集 (詳細編 P19～P20)

(公社) 全国産業廃棄物連合会や中部地域協議会等が実施する全国的な各種会議等 (計 18 回) に役員等が積極的に参加し、情報収集や意見交換に努めた。

(2) タイムリーな情報提供、相談への随時対応 (詳細編 P23、P20)

機関誌「しずおかの産廃」、ホームページや環境情報配信サービス等により、会員へのタイムリーな情報提供に努めるとともに、会員からの相談にも随時対応した。

2 各種研修会・講習会の開催

(1) 法令改正等に関する講習会や実務向上研修会等の開催 (詳細編 P20～P21)

法制度等を周知するための、「環境配慮契約法」や廃棄物情報の提供に関する講習会、実務の向上等を図るための、「産業廃棄物処理実務者研修会」や「BCP (事業継続計画) 構築プログラム」、「電子マニフェストシステム実務研修会」等を静岡市や浜松市等で計 24 回開催し、計 721 名の参加があった。

特に、当協会の職員が講師を務めた電子マニフェストの研修会などは好評であった。

(2) 産業廃棄物処理業許可等講習会の開催 (詳細編 P23)

(公社) 全国産業廃棄物連合会等と連携協力し、新規許可申請者や更新許可申請者等を対象とした講習会を計 11 回開催し、計 1,448 名の参加があった。

(3) 暴力追放推進や労働安全衛生に関する講習会の開催 (詳細編 P25～P26)

暴力追放の推進を図るため、昨年 12 月に開催した「不当要求防止責任者講習会」では 98 名の参加が、また、労働安全衛生規則の改正に伴い開催した「車両系建設機械 (解体用) 運転技能特例講習」では 38 名の参加があった。

(4) 各支部主催の勉強会等の開催 (詳細編 P24)

各支部において、「産業廃棄物処理業許可関係事務の改正」や「建設・解体工事から発生する産業廃棄物の適正処理」などといったテーマによる勉強会等を開催し、約 1,000 名の参加があった。

3 専門部会等の活動 (詳細編 P21～P23)

医療廃棄物部会、建設廃棄物部会、食品廃棄物部会の各専門部会は、幹事会や講習会の開催、先進事例の視察、(公社) 全国産業廃棄物連合会の専門委員会等への参加などを通じて活発に活動した。

このうち、医療廃棄物部会は、今年 2 月に県と締結した「家畜伝染病発生時における家畜の死体等の輸送に関する協定」の内容について議論を深め、課題等を

整理した。

また、青年部会も中部ブロック事業への参加・交流や平成 26 年 11 月に愛知県で開催される全国産業廃棄物連合会青年部協議会全国大会の開催準備等において精力的に活動した。

4 先進事例等の視察研修会の実施

(1) 本部主催の視察研修会 (詳細編 P25)

幅広く環境情報等を収集するため、昨年 5 月に東京ビッグサイトで開催された「2013 NEW 環境展」を 86 名の会員等の参加により視察研修を行った。

(2) 各支部主催の視察研修会 (詳細編 P25)

各支部において、昨年秋から今年の春にかけて県外の優良施設等計 8 箇所を会員等計 101 名の参加により視察研修した。

また、昨年 11 月に三重県志摩市で開催された「第 12 回産業廃棄物と環境を考える全国大会」に支部毎に計 67 名の会員が参加した。

5 表彰

(1) 知事褒賞 (詳細編 P26)

昨年 5 月 28 日に開催された定時総会に先立ち、平成 24 年度産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒賞授与式が行われ、会員企業 2 社が受賞された。

(2) (公社) 静岡県産業廃棄物協会会長表彰 (詳細編 P26)

昨年 5 月 28 日に開催された定時総会に先立ち、平成 24 年度会長表彰が行われ、功労者表彰は 3 名が、また、優良従事者表彰は 9 名が受賞された。

(3) (公社) 全国産業廃棄物連合会会長表彰 (詳細編 P26)

昨年 6 月 14 日に開催された (公社) 全国産業廃棄物連合会定時総会に併せて、平成 25 年度同連合会会長表彰が行われ、当協会関係では、優良事業所表彰 1 社と地方功労者表彰 1 名の受賞があった。

《管理運営》

1 定時総会・理事会等の開催 (詳細編 P27~P30)

定時総会が昨年 5 月に、また、理事会が昨年 4 月、10 月、今年の 3 月に開催され、予算や決算、定款の一部変更、理事の選任等に関する議案の決議が行われるとともに、事業の実績報告等も行われた。

また、運営、適正処理、広報等の各委員会も必要に応じて開催され、活発な議論等が行われた。

さらに、昨年 5 月の定時総会の終了後に行われた、公益社団法人への移行記念式典は、来賓や会員等 127 名が参加するなど大変盛況であった。

2 新規会員の加入促進と会員管理システムの運用 (詳細編 P30)

講習会などにおいて入会案内の配布等により新規会員の加入促進に努めたが、5 件の入会にとどまった。その一方で 32 件の退会等があったため、平成 25 年度末の会員総数は 1,137 会員となっている。

平成 25 年度 事業報告 【詳細編】

I 公益目的事業

1 適正処理推進事業

(1) 不法投棄防止活動事業

- ① 支部役員等が全国ごみ不法投棄監視ウィーク（5月30日から6月5日）や環境月間（6月）に静岡県等の実施する統一パトロールや街頭キャンペーンに参加、協力した。

i) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：平成 25 年 5 月 30 日

実施機関		場所	協会参加者
静 岡 県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員 2 名
	東部 //	沼津市、三島市、裾野市	東部支部役員 6 名
	中部 //	藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員 12 名
	西部 //	磐田市、袋井市、掛川市	中遠支部役員 4 名
静岡市 ※		静岡市	中部支部役員等 48 名
浜松市		浜松市	西部支部役員等 13 名
計			85 名

※静岡市は全国ごみ不法投棄監視ウィークに合わせ回収作業を予定していたが、荒天により中止となったため、出発式のみを行った。

ii) 不法投棄撲滅街頭キャンペーン

実施日：平成 25 年 6 月 3 日

実施機関		場所	協会参加者
静 岡 県	廃棄物リサイクル課	J R 静岡駅	中部支部役員等 11 名
	賀茂健康福祉センター	とうきゅうストア下田店	伊豆支部役員 3 名
	東部 //	J R 富士駅	東部・富士支部役員等 12 名
	中部 //	J R 藤枝駅	志太榛原支部役員等 11 名
	西部 //	J R 磐田駅	中遠支部役員 8 名
計			45 名

- ② 支部役員等が不法投棄撲滅強化月間（12月）に静岡県等の実施する不法投棄撲滅街頭キャンペーンや不法投棄防止統一パトロールに参加、協力した。

i) 不法投棄撲滅街頭キャンペーン

実施日：平成 25 年 12 月 2 日 *浜松市・西部支部は、平成 25 年 11 月 20 日

実施機関		場所	協会参加者
静岡県	廃棄物リサイクル課	J R 静岡駅	中部支部役員等 9 名
	賀茂健康福祉センター	マックスバリュー伊豆下田店	伊豆支部役員 3 名
	東部 //	J R 沼津駅	東部・富士支部役員等 14 名
	中部 //	J R 藤枝駅	志太榛原支部役員等 10 名
	西部 //	遠鉄ストア菊川店	中遠支部役員等 10 名
浜松市・西部支部		J R 浜松駅	西部支部役員等 6 名
計			52 名

ii) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：平成 25 年 12 月 5 日

実施機関		場所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員 2 名
	東部 //	沼津市、三島市、御殿場市、裾野市	東部支部役員 9 名
	中部 //	藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員 11 名
	西部 //	磐田市、袋井市、掛川市	中遠支部役員 3 名
計			25 名

③ 不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、各支部において不法投棄廃棄物の回収作業を実施した。

実施日／実施機関	場所	実績	参加者
平成 25 年 10 月 10 日 志太榛原支部・中部健康福祉センター	吉田町	重機用廃タイヤ 2 本	志太榛原支部役員、中部健福職員、吉田町職員等 10 名
平成 25 年 11 月 6 日 西部支部・浜松市	浜松市 浜北区	一般廃棄物 3.8 t	西部支部会員、浜松市職員、自治会 78 名
平成 25 年 11 月 27 日 東部支部・東部健康福祉センター	三島市、 沼津市	廃塗料缶、電線カバー（産業廃棄物）約 4t、一般廃棄物約 1m ³	東部支部役員・東部健福職員等 17 名
平成 25 年 11 月 29 日 伊豆支部・賀茂健康福祉センター	下田市	廃タイヤ 約 40 本	伊豆支部役員、賀茂健福職員等 7 名
平成 25 年 12 月 5 日 中部支部・静岡市	静岡市	一般廃棄物 630 kg	中部支部役員、静岡市職員等 13 名
平成 26 年 1 月 23 日 富士支部・東部健康福祉センター	富士市	がれき類 3.61 t	富士支部役員、東部健福職員等 19 名
平成 26 年 2 月 21 日 中遠支部・菊川市	菊川市	一般廃棄物 300 kg、 廃テレビ 3 台、廃タイヤ 3 本	中遠支部役員、菊川市職員 40 名
平成 26 年 3 月 4 日 中遠支部・西部健康福祉センター	磐田市	解体系混合廃棄物 （産業廃棄物）52 m ³	支部処理業者、西部健福職員 10 名

- ④ 平成 25 年 5 月 13 日に愛知県名古屋市において、中部四県「産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」が開催され、国、中部四県（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）及びその政令市並びに中部四県協会等が参加し、産業廃棄物不法処理防止について情報交換等をした。

(2) 災害対策支援事業

- ① 平成 26 年 1 月 17 日に静岡県が実施した地震対策大規模図上訓練に合わせて、災害廃棄物処理等の協力可能会員 363 社が参加して、災害廃棄物処理情報伝達訓練を実施した。
- ② 平成 26 年 2 月 5 日に静岡市内で開催された「災害時応援協定締結事業者との意見交換会（主催：静岡県）」に事務局が参加した。

2 適正処理啓発事業

(1) ぼくらはさんばい探偵団事業

- ① 廃棄物にかかわる環境学習の機会の提供として、平成25年7月25日から8月6日にかけて、「ぼくらはさんばい探偵団（夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会）」を7支部で実施（中部支部は静岡地区、清水地区に分けて実施）し、小学生親子 132 組 365 名が参加した。

支部／開催日	見 学 先	参加者数
伊豆支部 平成 25 年 8 月 6 日	・ ㈱三島チップ ・ ㈱ヤクルト本社富士裾野工場	11 組 38 名
東部支部 8 月 6 日	・ 東海製紙工業㈱ ・ ㈱富士環境保全公社	16 組 45 名
富士支部 7 月 31 日	・ ㈱リサイクルクリーン袋井工場 ・ ヤマハ発動機㈱	20 組 56 名
中部支部（静岡地区） 8 月 6 日	・ ㈱ヤクルト本社富士裾野工場 ・ 光陽産業㈱	19 組 45 名
中部支部（清水地区） 7 月 31 日	・ ㈱ヤクルト本社富士裾野工場 ・ 光陽産業㈱	17 組 43 名
志太榛原支部 8 月 1 日	・ ヤマハ㈱掛川工場 ・ ㈱コーシンサービス	12 組 41 名
中遠支部 8 月 2 日	・ ㈱明治東海工場 ・ チューサイ アースプロテクションセンター	20 組 50 名
西部支部 7 月 25 日	・ ハウス食品㈱静岡工場 ・ 富士エコサイクル	17 組 47 名

- ② 参加した小学生親子から感想文を募集して、文集CD「ぼくらはさんばい探偵団」として取りまとめ、感想文提出者をはじめ、視察先及び関係機関等に配布した。

(2) 産業廃棄物処理施設視察会事業

「ぼくらはさんぱい探偵団」の大学生版として、県立大学と静岡大学の学生等を対象に産業廃棄物処理施設等視察会及び意見交換会を2回実施した。

なお、両大学とも、本事業がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

実施日	視 察 先	参 加 者
平成 25 年 12 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)故紙センタートヨタ ・特種東海製紙(株)島田工場 ・(株)レックス 	静岡県立大学大学院食品栄養環境科学専攻生及び教員 21 名
平成 25 年 12 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・積水ハウス(株)静岡工場 ・堀内メガソーラー(株) 	静岡大学人文社会科学部法学科・経済学科生及び教員 27 名

(3) 展示会等出展事業

3Rの推進など循環型社会構築への理解を図るため、各支部において地域の環境イベント等に出展・参加し、啓発活動を行った。

支部／実施日	イベント・内容	参加者
伊豆支部 平成 25 年 11 月 24 日	「ごみフェスティバル in 伊東」 ・啓発ティッシュの配布	役員等 4 名
東部支部 平成 26 年 2 月 2 日	「2014ぬまづフリーマーケットフェスティバル&消費生活展」 ・支部会員からの提供品によるバザー ・売上収益を寄託	役員等 9 名
富士支部 平成 25 年 11 月 2 日	「富士市産業まつり商工フェア」 ・環境クイズ等の実施	役員等 11 名
中部支部 平成 26 年 2 月 22 日～23 日	「第 1 1 回静岡市ごみリサイクル展」 ・リサイクル品の展示、自転車発電の体験	役員等 3 名
志太榛原支部 平成 25 年 11 月 9 日～10 日	「焼津市消費生活展」 ・エコキャップ回収、環境クイズ等の実施	役員等 9 名
西部支部 平成 25 年 8 月～9 月	浜松市西部清掃工場において、支部会員の環境等報告書を展示	支部会員 8 社

3 能力開発支援事業

(1) 各種会議等への参加による情報収集

【(公社) 全国産業廃棄物連合会関係】

開催日／場所	会議名	出席者 (協会)
平成 25 年 4 月 23 日 四日市市	中部地域協議会第 1 回専務理事会議	専務理事
5 月 21 日 東京都	第 1 3 回理事会	会長
6 月 14 日 東京都	第 3 回定時総会	会長、専務理事、理事
7 月 5 日 名古屋市	東海四県「災害廃棄物支援協定」の締結に向けた担当者会議	専務理事、担当者

7月9日 東京都	第14回理事会	会長
7月23日 岐阜市	中部地域協議会第1回全体会議	会長、専務理事、理事
8月2日 東京都	第1回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
9月10日 東京都	第15回理事会	会長
10月8日 岐阜市	中部地域協議会第2回専務理事会議	専務理事
11月8日 志摩市	第12回産業廃棄物と環境を考える全国大会	会長、副会長、専務理事、理事、会員
11月19日 東京都	第16回理事会	会長
平成26年 1月17日 東京都	第17回理事会	会長
1月31日 東京都	第2回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
2月12日 掛川市	中部地域協議会第3回専務理事会議	専務理事
2月18日 東京都	第1回リサイクル推進委員会	専務理事
2月21日 金沢市	全国正会員会長・理事長会議	会長、専務理事
2月27日 東京都	第2回教育研修委員会	専務理事
3月11日 東京都	第18回理事会	会長

(2) 産業廃棄物処理業許可指導・相談事業

産業廃棄物処理業許可事務をはじめ、適正処理やリサイクル等に係わる指導、相談を協会本部で電話等により日常的に対応した。

(3) 法令改正等講習会事業

①環境配慮契約法等に関する研修

実施日／場所	内 容	受講者
平成25年7月23日 静岡市	「平成25年度第1回講習会」 ・環境配慮契約法（廃棄物処理に係る契約）の解説 ・産業廃棄物処理業者優良認定制度	127名

②産業廃棄物処理実務研修会

実施日／場所	内 容	受講者
平成25年6月26日 静岡市	「産業廃棄物処理実務者研修会－基礎コース－」 ・産業廃棄物の基礎 ・産業廃棄物の委託処理と委託契約 ・産業廃棄物管理票、帳簿	118名

③BCP（災害時等の事業継続計画）構築支援セミナー

実施日／場所	内 容	受講者
平成25年7月18日 静岡市	「BCP構築プログラム第1回」 ・BCPとは？導入メリット ・BCP全体像とモデルプラン様式説明 ・グループワーク	18社26名

8月23日 沼津市 22日 静岡市 21日 浜松市	「BCP構築プログラム第2回」 ・業務プロセスで依存関係・要素・資源の洗い出し ・客待ち時間・客離れ（目標復旧時間を検討）	計14社21名
9月24日 三島市 26日 静岡市 25日 浜松市	「BCP構築プログラム第3回」 ・継続戦略及び代替策の検討	計12社18名
10月22日 沼津市 24日 静岡市 23日 浜松市	「BCP構築プログラム第4回」 ・緊急時の対応 ・平常時の改善・強化「事前対策計画」	計13社20名
11月21日 三島市 19日 静岡市 20日 浜松市	「BCP構築プログラム第5回」 ・平常時の事業継続マネジメント（BCM） ・静岡県版BCP ・見直し作業	計12社17名
平成26年3月3日 静岡市	「BCP構築プログラム第6回」 ・BCPの維持管理について ・静岡県第4次地震被害想定 ・個別相談	7社8名

※共催：静岡県産業廃棄物処理協同組合

※協力：静岡県BCPコンサルティング協同組合

④WDS（廃棄物データシート）に関する研修

実施日／場所	内 容	受講者
平成26年3月10日 静岡市 *静岡県と共催	静岡県産業廃棄物適正処理推進研修会（多量排出事業者向け） ・廃棄物情報の提供について ・廃棄物データシート（WDS）の活用事例について ・協会からのお知らせ ・県からの事務連絡	203名

⑤電子マニフェストシステム実務研修会

実施日／場所	内 容	受講者
平成25年 8月27、29日 沼津市 19日 静岡市 21日 浜松市	「電子マニフェストシステム実務研修会」 ・電子マニフェストシステムの仕組みと運用 ・電子マニフェストシステムの操作体験	計107名
平成26年 2月25日 沼津市 17日 静岡市 26日 浜松市	「電子マニフェストシステム実務研修会」（追加開催） ・電子マニフェストシステムの仕組みと運用 ・電子マニフェストシステムの操作体験	計56名

（4）部会活動事業

①医療廃棄物部会

- i) 平成26年2月6日に幹事会を開催し、「家畜伝染病発生時における家畜の死体等の輸送に関する協定」の県との締結について協議した。

- ii) 平成 26 年 2 月 6 日に総会及び勉強会を開催し、平成 26 年度事業や次期部会運営等について協議した。勉強会では、有害・医療廃棄物部会研究会理事岡田 淳氏の「廃棄物処理における感染リスクの基礎知識」についての講話に部会員 23 名が受講した。
- iii) 平成 26 年 2 月 10 日に会長及び医療廃棄物部会長が出席して県との「家畜伝染病発生時における家畜の死体等の輸送に関する協定」を締結した。
- iv) 平成 25 年 4 月 3 日、6 月 27 日、平成 26 年 3 月 4 日に開催された（公社）全国産業廃棄物連合会医療廃棄物部会運営委員会に部会長が出席した。

②建設廃棄物部会

- i) 平成 25 年 10 月 2 日に幹事会を開催し、平成 25 年度事業等について協議した。
- ii) 平成 25 年 12 月 4 日に研修会を開催し、部会員 19 名が参加して島田市の大井川狭窄部の開削工事現場を見学した。
- iii) 平成 26 年 2 月 4 日に総会及び勉強会を開催し、平成 26 年度事業や次期部会運営等について協議した。勉強会では、（一社）石膏ボード工業会 専務理事 林 宏治氏の「廃石膏ボード再資源化の現状と課題」についての講話に部会員 21 名が受講した。
- iv) 平成 25 年 7 月 2 日、平成 26 年 3 月 13 日に開催された（公社）全国産業廃棄物連合会建設廃棄物部会運営委員会及び平成 26 年 2 月 13 日に開催された同部会建設汚泥分科会に部会長が出席した。
- v) 平成 26 年 2 月 6 日、13 日に愛知県名古屋市において「次期建設リサイクル推進計画策定に向けた意見交換会」（主催：中部地方建設副産物対策連絡協議会）が開催され、部会員 8 名が出席した。

③食品廃棄物部会

- i) 平成 25 年 10 月 4 日、平成 26 年 2 月 7 日に幹事会を開催し、平成 25 年度事業や次期部会運営等について協議した。
- ii) 平成 25 年 11 月 27 日に研修会を開催し、部会員 17 名が参加して浜松市の浜名酪農業協同組合 TMR センターや浜松市エコハウスを見学した。
- iii) 平成 26 年 2 月 7 日に総会及び勉強会を開催し、平成 26 年度事業や次期部会運営等について協議した。勉強会では、全国食品リサイクル登録再生利用事業者事務連絡会 事務局長 松岡力雄氏の「どうなる？食品リサイクル制度～食品リサイクル制度の今後を読む～」についての講話に部会員 21 名が受講した。

④青年部会

- i) 平成 25 年 4 月 15 日、11 月 11 日、平成 26 年 1 月 28 日に幹事会を開催し、当協会の公益社団法人への移行式典をはじめ、平成 25 年度事業や全

国大会実行計画等について協議した。

- ii) 平成 25 年 5 月 14 日に総会及び勉強会を開催し、平成 24 年度事業等の報告をした。勉強会では、当協会の職員が「産廃政策の浅く広いお話」というテーマで講演し、部会員 16 名が参加した。
- iii) 平成 26 年 2 月 22 日、23 日に静岡市内で開催された「第 11 回静岡市ごみリサイクル展」に環境教育事業の一環として参加し、リサイクル製品の展示等を行った。
- iv) 平成 26 年 2 月 28 日に全国産業廃棄物連合会青年部協議会スプリングカンファレンス 2014（全国青年部会長会議）が愛知県で開催され、部会長及び部会員 11 名が参加した。

(5) 協会機関誌「しずおかの産廃」発行等事業

- ① 協会機関誌「しずおかの産廃」を年 4 回発行し、行政当局から寄せられた情報、協会本部や各支部の活動状況等に関する各種情報を提供した。
- ② 「産廃技術ニュース」を年 4 回発行し、産業廃棄物の処理技術、処理施設に関する各種情報を提供した。

4 産業廃棄物管理票（マニフェスト）頒布事業

産業廃棄物処理における適正な管理を推進するため、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を頒布した。

【平成 25 年度実績】

種 類	頒 布 枚 数 (枚)
産業廃棄物管理票	291,300
建設マニフェスト	101,500
合 計	392,800

5 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

(1) 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

（公社）全国産業廃棄物連合会及び（公財）日本産業廃棄物処理振興センターと協力し、産業廃棄物処理業の新規許可申請者、更新許可申請者、特別管理産業廃棄物管理責任者を対象に講習会を計 11 回開催し、計 1,448 名の参加があった。

【受講状況】

種 類	開催回数(回)	参 加 者 (名)
産業廃棄物収集運搬課程【新規】	3	348
” 【更新】	3	446
産業廃棄物処分課程 【更新】	1	90
特別管理産業廃棄物管理責任者	4	564
計	11	1,448

II 会員相互の扶助事業

1 支部運営事業

各支部（伊豆、東部、富士、中部、志太榛原、中遠、西部）では、支部の運営、適正処理、広報の3委員会のもと、支部独自または本部との連携により、各種事業を実施した。

(1) 支部総会及び支部委員会の開催

(2) 「支部だより」の発行

(3) 勉強会等の実施

支部／開催日	内 容	参加者(名)
伊豆支部 平成 25 年 6 月 27 日	「講演会」 ・ 産業廃棄物処理業許可関係事務の改正	15
東部支部 9 月 3 日	「勉強会」 ・ 建設・解体工事から発生する産業廃棄物の適正処理	40
富士支部 10 月 9 日 * (一社) 富士建設業協会と共催	「第 1 回合同勉強会」 ・ 建設・解体工事から発生する産業廃棄物の適正処理	43
富士支部 平成 26 年 3 月 19 日 * (社) 富士環境保全協会と共催	「第 2 回合同勉強会」 ・ 産業廃棄物適正処理の確保 ・ 大気汚染防止法の一部改正	52
中部支部 3 月 18 日	「講演会」 ・ 違反事例で学ぶ廃棄物処理法 ・ 定期報告の記載方法等について	70
志太榛原支部 3 月 12 日	「講演会」 ・ 楽しく学ぶストレスマネジメント	49
中遠支部 平成 25 年 10 月 10 日	「廃棄物セミナー」 ・ 「行政処分の指針」の解説と廃棄物管理における留意点	32
西部支部 平成 26 年 2 月 14 日 * 浜松市と共催	「浜松市産業廃棄物の適正処理に係わる説明会」 ・ PCB 廃棄物の処理状況及び今後の見通し ・ 産業廃棄物に関する報告書提出のお願い ・ 立入検査結果から見た適正処理のポイント ・ 収集運搬に係る業許可及び委託時の留意事項 「特別講演」 ・ さらに混迷を深める<総合判断説>	700
計		1,001

(4) 視察研修会の実施

①優良施設視察研修

支部／開催日	見 学 先	参加者(名)
東部支部 平成 26 年 3 月 7 日	「優良施設視察研修会」 ・(株)アビヅ (愛知県) ・アサヒビール(株)名古屋工場 (愛知県)	13
富士支部 平成 25 年 11 月 21 日～22 日	「優良施設視察研修会」 ・(株)ハイパーサイクルシステムズ (千葉県) ・(株)クレハ環境かながわ事業所 (神奈川県)	13
中部支部 11 月 7 日～8 日	「優良施設視察研修会」 ・高野興業(株) (三重県) ・(一財) 三重県環境保全事業団 (三重県)	26
志太榛原支部 9 月 13 日	「第 1 回優良施設視察研修会」 ・エルテックサービス(株) (山梨県)	25
平成 26 年 2 月 21 日	「第 2 回優良施設視察研修会」 ・中部電力(株)浜岡原子力発電所 (静岡県)	24
計		101

②「第 1 2 回産業廃棄物と環境を考える全国大会」への参加

平成 25 年 11 月 8 日に三重県志摩市で開催された「第 1 2 回産業廃棄物と環境を考える全国大会」に各支部から会員等 67 名が参加した。

2 意識啓発向上事業

(1) 視察等事業

平成 25 年 5 月 24 日に県外優良施設見学会として、会員 86 名の参加により「2013 NEW環境展」を視察し、廃棄物処理・リサイクル技術、企業の環境経営等の情報収集に努めた。

(2) 暴力追放推進事業

① 平成 25 年 12 月 6 日に(公社)静岡県産業廃棄物協会暴力追放推進協議会第 1 4 回大会及び「不当要求防止責任者講習会」を開催し、会員 98 名が参加した。受講者には、静岡県公安委員会より受講修了書が発行された。

② 平成 25 年 11 月 12 日に富士市内において開催された「第 31 回静岡県暴力追放・銃器根絶県民大会」に東部支部、富士支部、中部支部役員等 17 名が参加した。

(3) 労働安全衛生事業

① 平成 25 年 10 月 8 日に安全衛生委員会を開催し、平成 25 年度安全衛生事業について協議した。

- ② 平成 26 年 2 月 20 日 静岡市において、建設業労働災害防止協会静岡県支部の支援により、「車両系建設機械（解体用）運転技能特例講習」を開催し、受講した 38 名の処理業者部会員に新たな車両系建設機械（解体用）運転技能講習修了証が発行された。

(4) 表彰

①産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒賞

平成 25 年 5 月 28 日の定時総会に先立ち平成 24 年度知事褒賞授与式が行われ、会員企業 2 社が受賞した。

【受賞者】

- ・(株)フジタ
- ・(株)巴川製紙所静岡事業所

②（公社）静岡県産業廃棄物協会会長表彰

平成25年 5 月28日の定時総会に先立ち平成 24 年度会長表彰が行われ、功労者表彰は 3 名が、また、優良従事者表彰は 9 名が受賞した。

【受賞者】

(敬称略)

表 彰 名	被 表 彰 者
功 労 者 表 彰	土屋建設(株) 久保 幸博
	花菱建設(株) 大高 圭介
	(株)ハイナン 福世 建次郎
優 良 従 事 者 表 彰	伊豆総業(株) 梶 真治
	伊豆総業(株) 眞田 宏崇
	丸は工業(株) 小山 幸伸
	日立アプライアンス(株) 田中 正雄
	(株)静岡環境保全センター 菊川 富雄
	(株)静岡環境保全センター 伊藤 栄蔵
	(株)テクノサポート 曾根 義久
	(有)エー・ワイ環境開発 山中 秋夫
	(株)ミダック 小林 宏栄

③（公社）全国産業廃棄物連合会会長表彰

平成 25 年 6 月 14 日に当協会会員から、優良事業所表彰 1 社、地方功労者表彰 1 名が受賞した。

【受賞者】

(敬称略)

表 彰 名	被 表 彰 者
優良事業所表彰	(株)イーシーセンター
地方功労者表彰	東海建設(株) 土屋 順一

Ⅲ 管理運営

1 定時総会・理事会等の開催

(1) 定時総会

平成 25 年 5 月 28 日にグランディエールブuketオーカイで平成 25 年度定時総会が開催され、議案 3 件が原案どおり決議（承認）された。

なお、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 53 条に基づき、会員から第 1 号議案及び第 2 号議案に関して監査結果や定款の整合性等 5 件の特定事項について説明を求められたので、それに対する説明が行われた。

また、報告 1 件が行われた。

【決議事項】

第 1 号議案 平成 24 年度事業報告及び平成 24 年度収支決算書

第 2 号議案 定款の一部変更

第 3 号議案 理事の選任

【報告事項】

(1)平成 25 年度事業計画書及び平成 25 年度収支予算書

【出席等】

議決権のある当法人の会員総数 1,109 名

決議に必要な会員数 第 1 号議案及び第 3 号議案 555 名

第 2 号議案 740 名

出席会員数 857 名

(議決権行使書面によるもの 722 名含む)

(2) 理事会

① 平成 25 年 4 月 24 日に静岡グランドホテル中島屋で第 1 回理事会が開催され、議案 3 件が原案どおり決議（承認）され、平成 25 年 5 月 28 日開催の定時総会に付議された。

また、報告 2 件が行われた。

【決議事項】

第 1 号議案 平成 24 年度事業報告及び平成 24 年度収支決算書

第 2 号議案 定款の一部変更

第 3 号議案 理事の選任

【報告事項】

(1)公益社団法人移行記念式典予算

(2)平成24年度下半期事業の実施状況

【出席等】

理事総数 28 名

決議に必要な理事の数 15 名

出席理事数 15 名

出席監事数 2 名

② 平成 25 年 10 月 31 日に静岡グランドホテル中島屋で第 2 回理事会が開催され、議案 3 件が原案どおり決議（承認）された。

また、報告 5 件が行われた。

【決議事項】

第 1 号議案 新規会員の加入

第 2 号議案 公益社団法人静岡県産業廃棄物協会表彰規程の改正

【報告事項】

(1) 公益社団法人移行記念式典開催結果

(2) 次期（平成26～27年度）役員改選スケジュール

(3) 第12回産業廃棄物と環境を考える全国大会への当協会の参加計画

(4) 平成26年度全国正会員会長・理事長会議の静岡開催

(5) 平成25年度上半期事業の実施状況

【出席等】

理事総数 28 名

決議に必要な理事の数 15 名

出席理事数 20 名

出席監事数 1 名

③ 平成 26 年 3 月 24 日に静岡グランドホテル中島屋で第 3 回理事会が開催され、議案 7 件が原案どおり決議（承認）された。

また、報告 7 件が行われた。

【決議事項】

第 1 号議案 平成26年度事業計画書、平成26年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

第 2 号議案 平成26年度定時総会の開催

第 3 号議案 理事会による理事候補者の推薦

第 4 号議案 新規会員の加入

第 5 号議案 平成25年度会長表彰

第 6 号議案 公益社団法人静岡県産業廃棄物協会事務処理規程の制定

第 7 号議案 平成24年度正味財産増減計算書内訳表の修正

【報告事項】

(1) 次期（平成26～27年度）役員候補者の選定状況

(2) 「家畜伝染病発生時における家畜の死体等の輸送に関する協定」の県との締結

(3) 公益社団法人全国産業廃棄物連合会の次期役員等改選に伴う中部地域協議会からの推薦に当たっての考え方

(4) 静岡県の立入検査結果

(5) 廃棄物不法投棄防止に関するアンケート調査の実施

(6) 「全国産業廃棄物連合会青年部協議会第 9 回全国大会中部大会in名古屋」への支援要請

(7)平成25年度第3四半期(10月～12月)事業の実施状況

【出席等】

理事総数	28名
決議に必要な理事の数	15名
出席理事数	20名
出席監事数	2名

(3) 運営委員会

平成25年4月17日、10月7日、平成26年1月16日、2月6日、3月14日に運営委員会が開催され、総会及び理事会へ付議する議案等についての協議が行われた。

(4) 適正処理委員会

平成25年4月16日、9月26日、平成26年3月13日に適正処理委員会が開催され、適正処理事業等についての協議が行われた。

(5) 広報委員会

①会議

平成25年5月9日、9月10日、12月4日、平成26年3月11日に広報委員会が開催され、機関誌等の発行をはじめ、ぼくらはさんぱい探偵団や産業廃棄物処理施設等視察会の実施計画等についての協議が行われた。

②主な広報PR

- i) 中日新聞から廃棄物処理の現状と課題について取材を受け、6月29日発行の「環境特集」に掲載された。
- ii) エフエム放送局K-MIX社が6月と12月に実施する「グリーンスタイルキャンペーン」に協賛して、エコ新聞への広告掲載やラジオCMによる当協会のPRを行った。
- iii) 平成25年11月27日の東部支部の不法投棄廃棄物回収作業が、テレビ放映及び新聞掲載された。
- iv) 平成26年1月23日の富士支部の不法投棄廃棄物回収作業が、テレビ局から取材を受け放映された。
- v) 東部支部の平成26年2月1日開催の「2014ぬまづフリーマーケットフェスティバル&消費生活展」でのバザー収益金(154,115円)の「愛の都市訪問」への寄託が、静岡新聞に掲載された。

(6) 災害対策委員会

平成26年2月19日に災害対策委員会が開催され、災害情報伝達訓練及び災害廃棄物処理・復興支援体制等の見直しについての協議が行われた。

(7) 公益社団法人移行記念式典の開催

昨年5月の定時総会終了後に行われた公益社団法人移行記念式典は、会員や来賓等127名が参加するなど大変盛況であった。

2 新規会員の加入促進と会員管理システムの運用

(1) 新規会員の加入促進

会員以外も参加する講習会等において、入会案内の配布等により新規会員の加入促進に努めたが、5件の入会にとどまった。

その一方で32件の退会等があったため、平成25年度末の会員総数は1,137会員となった。

【平成25年度会員数の推移】

区 分		平成25年 4月1日	入 会	退 会	平成26年 3月31日	
正 会 員	処 理 業 者	収 集 運 搬	386	0	11 (2)	375
		中 間 処 分	317	2	2	317
		最 終 処 分	36	0	2	34
	小 計		739	2	15 (2)	726
	排 出 事 業 者	排 出 事 業 者	343	1	14	330
		団 体	28	0	0	28
	小 計		371	1	14	358
計		1,110	3	29	1,084	
賛 助 会 員		54	2	3	53	
合 計		1,164	5	32 (2)	1,137	

※退会等の主な理由

- ・ 処理業者では、業の廃止、業務の縮小、会費が1年以上未納等
- ・ 排出事業者と賛助会員では、工場・事務所等の閉鎖、経費の削減等

※退会の欄の()の数字は、内数で、会費の1年以上未納等による会員資格の喪失

(2) 会員管理システムの運用

会員管理システムを適切に運用し、会員の処理業許可更新時期のお知らせや環境情報の配信等に役立てた。

事業報告の附属明細書

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。